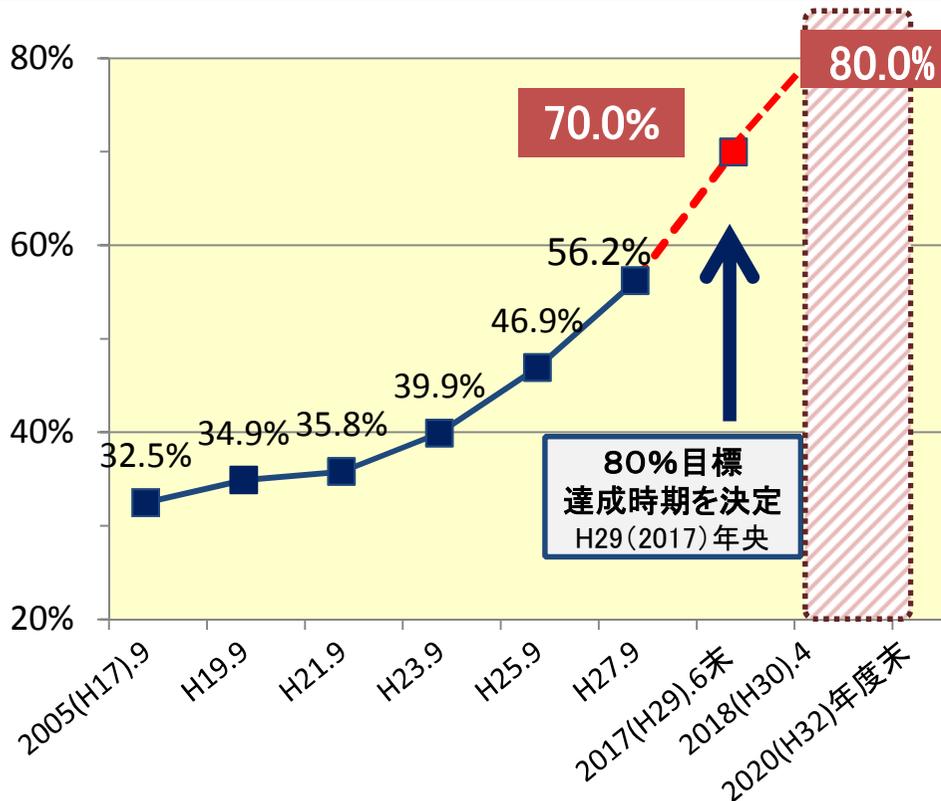


後発医薬品の市場シェア

我が国の後発医薬品の数量シェアの推移と目標

数量シェア目標

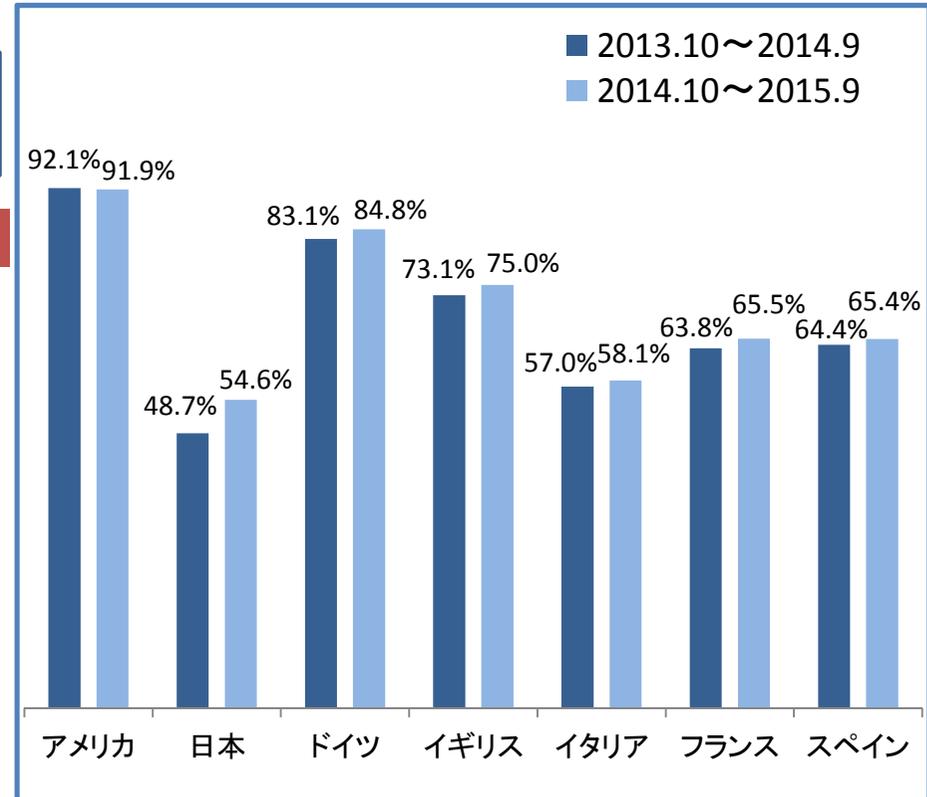
- ① 2017年（平成29年）中に70%以上
- ② 2018年度（平成30年度）から2020年度（平成32年度）末までの間のなるべく早い時期に80%以上



注) 数量シェアとは、「後発医薬品のある先発医薬品」及び「後発医薬品」を分母とした「後発医薬品」の数量シェアをいう

厚生労働省調べ

各国の後発医薬品のシェア（数量ベース、年平均値）



注) ・後発医薬品のシェア=後発医薬品/(後発医薬品+長期収載品)×100(%)
 ・2013.10~2014.9と、2014.10~2015.9で、以下のとおり、後発医薬品、長期収載品の定義が異なっていることに注意が必要である。
 【2013.10~2015.9】
 後発医薬品: GENERIC PRODUCTS(パテント等で過去一度も保護されたことのない通常の後発品とオアソライズド・ジェネリック)
 EARLY ENTRY GENERIC PRODUCTS(先発品保護期間中に上市されたオアソライズド・ジェネリック)
 BIO-COMPARABLE PRODUCTS(バイオ後続品)
 長期収載品: NON-GENERIC PRODUCTS(後発医薬品でなく、過去保護されていたが現在は保護が切れているもの。バイオ後続品の参照対象となる先行バイオ医薬品含む。また、保護期間中のオアソライズド・ジェネリックの参照対象となる先発医薬品も含む。)
 【2013.10~2014.9】
 後発医薬品: GENERIC PRODUCTS(パテント等で過去一度も保護されたことのない通常の後発品とオアソライズド・ジェネリック)
 BIO-COMPARABLE PRODUCTS(バイオ後続品)
 長期収載品: NON-GENERIC PRODUCTS(後発医薬品でなく、過去保護されていたが現在は保護が切れているもの。バイオ後続品の参照対象となる先行バイオ医薬品含む。)
 ・IMS Health, MIDAS, Market Segmentation, MAT Sep 2014, RX only (PRESCRIPTION BOUND) 及びIMS Health, MIDAS, Market Segmentation, MAT Sep 2015, RX only (PRESCRIPTION BOUND) をもとに後発医薬品の各国の数量(SU)ベースでの後発医薬品のシェアを算出。IMS MIDAS dataでは、直販分の数量を把握できないため、後発医薬品の直販が他国と比較して多い日本については、IMS Health社データにおける日本のジェネリック医薬品市場のカバー率(売上金額ベース、2013.4~2014.3で70.9%、2014.4~2015.3で73.1% 日本ジェネリック製薬協会調べ)をもとに推計を行っている。
 (出典1)©2016 IMS Health, MIDAS, Market Segmentation, MAT Sep 2014, RX only (PRESCRIPTION BOUND)
 (出典2)©2016 IMS Health, MIDAS, Market Segmentation, MAT Sep 2015, RX only (PRESCRIPTION BOUND)

無断転載禁止